

東近江市 個人情報盗難

アピア駐車場で車上荒らし

固定資産税算出の基礎データ

住所、氏名以外は数字で入力

東近江市の固定資産税を算出する基礎データなどを算出する基礎データなどが入ったカバンが二十

六日午後二時ごろ、八日六日午後二時ごろ、八日

市駅前アピア六階駐車場で車上荒らしに遭い、全市民の土地情報約二十八万二千件（所有者四万五千

千百七十六人

が流出した。

市が業務委託する朝日航洋関西支社の技術社員（35）が昼食中に被害に遭ったもので、カバンの中には土地情報が入った外付けハードディスク一台のほか、個人用のノートパソコン、携帯電話などが

データ盗難を説明する市担当職員と会社幹部



入っていた。

市や会社側の説明によると、ハードディスクには土地所有者、住所、地目、面積などの情報が入

力され、東近江市のほか岐阜県三市、兵庫県一市の土地情報も含まれていたという。

盗難に遭ったディスクには、所有者の名前、住所以外ほとんどが数字で入力され、専用の読み取り機がないと、正しく表示されない仕組みで、関係者でないとは説明は難しいと説明する。

同市が電算移行を開始した十一年から、固定資

産税の評価基準を算出する調査業務を朝日航洋に委託していた。今回盗まれたのは、十九年度の課税評価額の算出に向け、一部修正を依頼していた本年度課税分の基礎データだった。

貴重な個人情報を窓越しに見える座席に放置して社員が車を離れたことについて、朝日航洋は「不祥事を招き深くお詫びする」とした上で、社の個人情報保護管理規定に基づき総点検を行い、運用遵守の指示徹底に努め「再発防止へ一層の社員教育に努める」とコメントしている。

この事態を重くみた同市では、幹部職員らによるセキュリティ会議を

緊急に開き、各部署で管理するパソコンをはじめ、内部全体の情報管理態勢を再検討するとともに、個人情報データの徹底管理を指示した。